

昨年、31人がガンで死亡

5月に婦人検診、胃部検診を実施します

婦人検診日程

検診料金400円

検診月日	曜日	会場	対象地区	受付時間
5月10日	火	黒崎町公民館	山田校区、大野町部 立仏校区、板井校区	午前 9:00~10:30
5月10日	火	黒崎町公民館	黒島、木場校区、金巻、興野 鳥原新田、小平方、鳥原本村 蓮方、大明、鳥原新地、川原	午後 1:30~3:00

※検診当日は体を清潔にしておいてください。

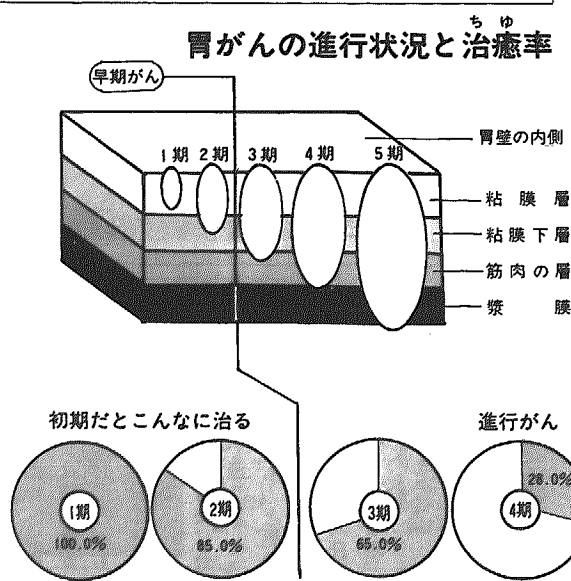
胃部検診日程

検診料金500円

検診月日	曜日	会場	対象地区	受付時間
5月18日	水	立仏公民館	立仏(第1~第3) 山田(第1~第4)	午前 7:30~9:30
18日	水	北部地区公民館	寺地地区 下山地区	午前 7:30~9:30
19日	木	黒島公民館	黒島校区 (結立、北場含む)	午前 7:30~9:30
19日	木	柳作民民館	善久、柳作 焼餅団地	午前 7:30~9:30
20日	金	板井公民館	板井校区	午前 7:30~9:30
20日	金	木場公民館	木場校区	午前 7:30~9:30
21日	土	黒崎町公民館	大野地区、川原、金巻 興野(1~4区)、小平方、鳥原新田	午前 7:30~9:30
21日	土	鳥原本村公民館	鳥原(本村、新地) 大明、蓮方、各団地	午前 7:30~9:30

※検診当日は朝食をとらず、お茶、タバコもいっさい口の中に入れてください。検診料は当日会場で受け付けます。

早ければこんなに治ります



5月10日から婦人検診、胃部検診が始まります。婦人、胃部検診はガンの早期発見が目的です。

黒崎町で昨年ガンで亡くなった人は31人でした(直接の死因)。今のところ、胃ガンがトップですが肺ガンも年々増加し、近い将来胃ガンを追い越すといわれます。

死亡者のほとんどは自覚症状があった後医療機関で受診した人でした。つまり、手遅れだったわけです。胃部、婦人のガンは「早期ガン」のうちに発見できればほとんど完全に治ります。毎年、検診を受けていれば、自覚のない早期ガンのうちに発見できます。ぜひこの機会に検診を受けてください。

検診の受け方は次のとおりです。

- ・対象 職場検診のない人
 - ・料金 400円
 - ・順番 ①受付番号↓②問診票の記入↓③問診↓④検診車、車の中はカーテンで仕切られ、人と顔を合わせる必要がありません。検査法は子宮の入口にある細胞を綿球で採取して検査します。
 - ・結果は、胃部検診と同じです。
- 胃部検診(5月18・21日)
- ・対象 職場検診のない人
 - ・料金 500円
 - ・順番 ①受付番号↓②問診票の記入↓③検診車↓④検診・白いアイスクリームの匂いのするバリウムという造影剤を飲みながら胃のレントゲンを5〜6枚撮ります。
 - ・注意点 ①前日の夕食は軽くすませ、

夜8時以降は食べたり飲んだりしないでください。当日は一口の水も飲まないでください。②ボタンや金具のない下着一枚でレントゲンを撮ります。

・結果は、3週間後精密検査の必要がないにだけ連絡します。

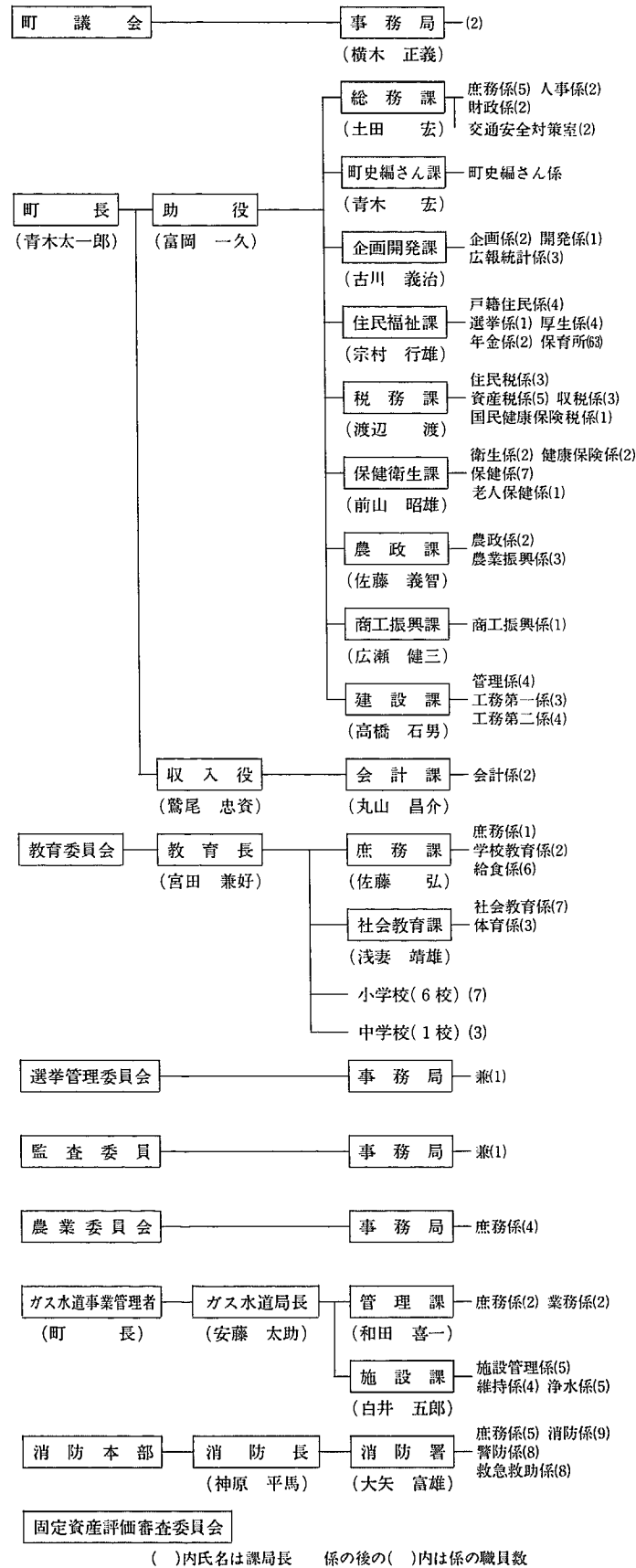
※なお、肺については7月の総合検診で行います。こちらもぜひ受けてください。

ガンの4つの特徴

- ①異常な増殖力：ひとたびガン細胞が増え始めると異常なスピードで増え続けます。
- ②転移：初めにできたガン細胞はリンパ管や血管を通じて転移しましたガンを作ります。
- ③やせてくる：やせて貧血がおきます。
- ④出血しやすい：胃ガンが進むと便に血液がまじるため黒くなったりします。肺ガンは血タンが出やすく、子宮ガンも出血しやすくなります。

お問い合わせ
役場保健衛生課

昭和63年度行政機構図



特別会計・事業会計予算

各会計の予算 ()は前年度比

■国民健康保険	9億8098万5千円 (+3.1%)
■老人保健	9億4537万4千円 (+3.7%)
■水道事業(支出)	5億4929万4千円 (+11.7%)
■ガス事業(支出)	7億552万円 (+0.1%)

国民健康保険

歳入歳出とも9億8098万5千円、前年度比3.1%の増。財源は国民健康保険税4億3802万7千円、国庫支出金3億9801万円、その他(交付金、繰越金、財産収入、諸収入など)が1億3367万円、一般会計からの繰入金1127万8千円。主な歳出は保険給付費6億4860万円、老人保険拠出金2億7530万7千円。

今年も療養給付をはじめ、人間的ドックの助成、健康づくり事業を予定しています。

老人保健

歳入歳出とも9億4537万4千円、前年度比3.7%の増。財源は支払基金交付金6億5770万1千円、国庫支出金1億730万4千円、県支出金4681万4千円、一般会計繰入金5354万9千円。歳出のほとんどは医療費で9億3858万4千円。老人一人当たりの医療費が6万2690円で県下最高という状態であり、厳しい財政状況にありま

水道事業

今年度も衛生的な管理と安定給水の確保に重点を置き、給水戸数は67999戸、給水量を296万立方メートルと見込んでいます。主な建設事業では老朽化したエタニットパイプの入れ替え、本管の増径工事、浄水場排泥池の整備を計画。収益的収入(水道料金など)は4億1531万3千円、同支出は3億9488万5千円。資本的収入は150万円、同支出は1億5440万9千円を計上し、不足分の1億5290万9千円は損益勘定留保資金などで補填します。

ガス事業

円高で他の燃料と競合し、厳しい運営をせまられて、経常的な経費を抑制した予算編成です。供給戸数は6468戸、供給量は705万8千立方メートルと見込んでいます。主な事業は事故防止対策にアダプター装着、導管ガス漏れ調査など。老朽化した本管の布設替、新設も実施。収益的収入(料金など)は6億1290万5千円、同支出は6億1002万円。資本的収入は3020万円のうち3千万円は企業債の償還に3029万円